

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

平成31年2月26日 VOL. 94

1. 638人の認知症サポーターが新たに誕生！！

認知症サポーター養成講座を積極的に開催し、平成30年度は学校や薬局、郵便局など28回行い、1,638人の認知症サポーター(H31.1月末現在)が誕生しています。

認知症サポーター累計(H18年度～)：約16,000人

『認知症サポーター』とは認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を見守る応援者

H31.2.21 藤枝中学校福祉学習にて

『キャラバンメイト』とは
認知症サポーター養成講座の講師役

①ご飯を食べたことを忘れてしまうおばあちゃん②学校の行き帰りに道に迷っている人を見かけた場合を想定した、ロールプレイを行い、声のかけ方を学びました。

認知症の人への対応の心得“3つの「ない」”

1. 驚かせない 2. 急がせない 3. 自尊心を傷つけない

具体的な対応の7つのポイント

①まずは見守る②余裕をもって対応する③声をかけるときは1人で④後ろから声をかけない⑤相手に目線を合わせてやさしい口調で⑥おだやかに、はっきりした話し方で⑦相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

【参加者へのインタビュー】

・目線を合わせて声をかけるように気をつけました
・はっきりと丁寧な言葉遣いを意識しました

親子で認知症のことを学んでみよう！H30.11.17・H31.1.27
地域包括ケア推進課・図書課(駅南図書館・岡出山図書館)連携事業



認知症に関する本の紹介



キャラバンメイトによる劇と認知症のお話、図書館司書による認知症の絵本の読み聞かせをとおして、親子で認知症について学びました。

H31.1.30 市役所職員対象

市役所から目指そう！！

認知症になっても安心して暮らせるまち
“ふじえだ”

新規採用職員45名を対象に、認知症について学び、窓口や訪問時を想定したロールプレイとグループワークにより、認知症人への接し方を具体的に学びました。また、認知症の人の介護経験のあるキャラバンメイトが“家族の声”を届けました。



【参加者の感想】

・住民としても職員としても改めて身近なことだと感じた・本人が一番苦しんでいることが分かった・家族や周りのサポートが必要不可欠・相手の立場に立ち、尊重すること、余裕をもって対応する